

## 日本腐植物質学会第30回講演会プログラム

会期:2014年11月22日(土)~23日(日)

会場:日本大学生物資源科学部 湘南キャンパス(本館3階・中講堂1、2)

### 大会日程

---

11月22日(土)	9:00~10:00	受付
	10:00~10:05	開会挨拶
	10:10~10:50	ポスターアピール
	10:50~12:00	ポスタープレゼンテーション
	12:00~13:20	昼食
	13:20~14:20	総会
	14:20~14:30	休憩
	14:30~17:40	第30回大会記念シンポジウム
	18:00~20:00	懇親会

---

11月23日(日)	9:00~9:20	受付
	9:20~10:40	口頭発表セッション1
	10:40~11:00	休憩
	11:00~12:20	口頭発表セッション2

---

日本腐植物質学会 第30回講演会実行委員会

事務局:隅田裕明、小林孝行

連絡先:〒252-880 神奈川県藤沢市亀井野 1866

日本大学生物資源科学部 生命化学科 土壌圏科学研究室

電話:0466-84-3954, FAX:0466-84-3952

E-mail: kobayashi.takayuki01@nihon-u.ac.jp

—大会 1 日目(11 月 22 日)—

9:00～10:00 受 付

10:00～10:05 開会挨拶

10:10～12:00 ポスターセッション

10:10～10:50 ポスターアピール(進行:加藤 拓、池谷康祐)

10:50～12:00 ポスタープレゼンテーション

12:00～13:20 昼 食

13:20～14:20 総 会

14:20～14:30 休 憩

14:30～17:40 第 30 回大会記念シンポジウム

「環境中に存在する天然有機物研究の過去と未来」

1. 趣旨説明 長尾 誠也(金沢大・環日本海域環境センター)
2. 日本腐植物質学会のあゆみ 渡邊 彰(名古屋大・院生命農学)
3. 天然有機物研究の過去と未来
  - S1 「水環境中の天然有機物の化学構造」  
藤嶽 暢英 (神戸大・院農学)
  - S2 「水環境中の天然有機物の動態」  
眞家 永光 (北里大・獣医)
  - S3 「水環境中の天然有機物の機能」  
福嶋 正巳 (北海道大・院工学)
  - S4 「土壌有機物の化学構造」  
池谷 康祐 (名古屋大・院環境学)
  - S5 「土壌有機物の動態」  
川東 正幸 (首都大・都市環境学)
  - S6 「土壌有機物の機能」  
青山 正和 (弘前大・農学生命科学)

4. 総合討論

18:00～20:00 懇親会 (日本大学生物資源科学部 食堂棟 3 階)

—大会 2 日目(11 月 23 日)—

9:00~ 9:20 受付

9:20~10:40 口頭発表セッション1

座長 児玉 宏樹

O1 「土壌の加熱処理による腐植物質の質的・量的変化」

○勝見尚也、米林甲陽、岡崎正規 (石川県立大学生物資源環境学部)

O2 「連用年数の異なる圃場の比較に基づく水田における土壌有機炭素・窒素プールの長期動態解析」

○渡邊 彰<sup>1</sup>、中原諒公<sup>1</sup>、Zou P.<sup>2</sup>、安藤 豊<sup>3</sup>、Fu J.<sup>2</sup>、杉浦幸希<sup>1</sup>、Cao Z.<sup>4</sup> (<sup>1</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科、<sup>2</sup>浙江省農業科学院、<sup>3</sup>山形大学農学部、<sup>4</sup>中国科学院南京土壤研究所)

O3 「有機酸発酵によって作られるフルボ酸の形成過程における温度変化」

○田中賢治<sup>1</sup>、飛田和陽子<sup>1</sup>、飛田和秀治<sup>1</sup>、森 千夏<sup>2</sup> (<sup>1</sup>株式会社日本フルボ酸総合研究所、<sup>2</sup>国土防災技術株式会社)

O4 「重金属を収着させた非晶質および結晶性粘土コロイドに対するフルボ酸の収脱着特性」

○加藤 拓、崎山敦史、鈴木武志、藤嶽暢英 (神戸大学農学研究科)

10:40~11:00 休憩

11:00~12:20 口頭発表セッション2

座長 眞家 永光

O5 「Tetramethylammonium ion を分光プローブとして用いた<sup>1</sup>H DOSY 法による高分子酸の配位環境の評価」

○児玉宏樹<sup>1</sup>、宮島 徹<sup>2</sup>、中田弘太郎<sup>3</sup> (<sup>1</sup>佐賀大学 総合分析実験センター、<sup>2</sup>佐賀大学大学院工学系研究科、<sup>3</sup>電力中央研究所)

O6 「ハイドロタルサイトへのテクネチウム(VII)の吸着に対するフミン酸の影響」

○薬袋佳孝<sup>1,2</sup>、Nathalie A. Wall<sup>3</sup> (<sup>1</sup>武蔵大学基礎教育センター、<sup>2</sup>根津化学研究所、<sup>3</sup>ワシントン州立大学化学科)

O7 「牛ふんメタン発酵残渣中の中性糖および脂肪酸組成定量法の改良」

○筒木 潔<sup>1</sup>、保井聖一<sup>2</sup> (<sup>1</sup>帯広畜産大学、<sup>2</sup>北海道エア・ウォーター株式会社)

O8 「フムスエキスの肌に及ぼす効果」

○上原静香、水谷友紀、笠 明美、林 昭伸 (コーセー研究所 開発研究室 薬剤効能研究グループ)

12:20~12:25 閉会挨拶

ポスターセッション 11月22日(土)10:10~12:00

最初に、ポスターアピールを講演番号順に1人2分30秒間ポスター前で行います。

ポスタープレゼンテーションは10:50~12:00に設定しています。

P1 「腐植物質とリグニン関連物質の蛍光スペクトルの類似性」

○米林甲陽、勝見尚也、岡崎正規 (石川県立大学生物資源環境学部)

P2 「Versatile peroxidase による腐植酸の褪色特性」

○柳由貴子、八谷龍太郎 (山口大学 農学部)

P3 「幌延深部地下環境における腐植物質分解能を示す嫌気性微生物の探索」

○上野 晃生<sup>1</sup>、清水 了<sup>1</sup>、玉村 修司<sup>1</sup>、長沼 毅<sup>2</sup>、金子 勝比古<sup>1</sup> (<sup>1</sup>幌延地圏環境研究所、<sup>2</sup>広島大院・生物圏科学)

P4 「三次元励起蛍光スペクトル法を用いた太陽光と温度による腐植物質分解の測定」

○盛合哲史、千賀有希子 (東邦大学 理学研究科)

P5 「スコットランド地方の有色河川水におけるフミン物質濃度と溶存元素濃度の関係」

○山野智子<sup>1</sup>、佐藤 元<sup>2</sup>、園田 碧<sup>2</sup>、鈴木武志<sup>2</sup>、加藤 拓<sup>2</sup>、藤嶽暢英<sup>2</sup> (<sup>1</sup>神戸大学農学部、<sup>2</sup>神戸大学大学院農学研究科)

P6 「海水中における腐植様物質コロイドの安定性と微細藻類に対する生物可用性」

○岡田未央<sup>1</sup>、荻野 匡<sup>1</sup>、竹村匡史<sup>1</sup>、牧 輝弥<sup>2</sup>、長谷川浩<sup>2</sup>、楯 洋亮<sup>3</sup>、一條利治<sup>3</sup> (<sup>1</sup>金沢大院自然、<sup>2</sup>金沢大理工、<sup>3</sup>電気化学工業(株)ライフイノベーション研究所)

P7 “Effect of steel slag on structural features of humic acids extracted from compost samples of food processing residue”

○Xuefei Tu, Apichaya Aneksampant, Qianqian Zhu, Masami Fukushima (Faculty of Engineering, Hokkaido University)

P8 “Effect of humic precursors on chemical leaching of iron from a steel-slag sample”

○Apichaya Aneksampant<sup>1</sup>, Xuefei Tu<sup>1</sup>, Taisuke Kikuchi<sup>1</sup>, Qianqian Zhu<sup>1</sup>, Masami Fukushima<sup>1</sup>, Chika Kosugi<sup>2</sup>, and Toshiaki Kato<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Faculty of Engineering, Hokkaido University, <sup>2</sup>Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation)

P9 「竹材堆肥抽出液を用いた水耕栽培植物への影響」

○伊藤忠義<sup>1,2</sup>、佐藤公紀<sup>1</sup>、宮澤厚次<sup>1</sup>、高味充日児<sup>2</sup>、矢島博文<sup>3</sup>、吉澤秀治<sup>1</sup> (<sup>1</sup>明星大理工、<sup>2</sup>(株)T&G、<sup>3</sup>東理大大学院)

P10 「土壌中のペリレンキノン系緑色色素の分布特性」

○小林孝行、隅田裕明 (日本大学生物資源科学部)

P11 「コロイド粒子表面に形成されたカチオン性高分子吸着層に対するアニオン性有機高分子の影響」

○山下祐司, Chai Jongmin, 足立泰久 (筑波大学生命環境系)

P12 「森林土壌中における  $^{137}\text{Cs}$  保持に及ぼす有機物の影響」

○山西凌平<sup>1</sup>、杉山裕子<sup>1</sup>、伊勢田耕平<sup>2</sup>、田野井慶太郎<sup>2</sup>、藤嶽暢英<sup>3</sup>、加藤 拓<sup>3</sup>、Chen Xu<sup>4</sup>、Peter H. Santschi<sup>4</sup>、熊谷哲<sup>1</sup>、大手信人<sup>2</sup>（<sup>1</sup>兵庫県立大学環境人間学部、<sup>2</sup>東京大学農学生命科学研究科、<sup>3</sup>神戸大学農学研究科、<sup>4</sup>Texas A&M University）